

## 四万十市体験型観光受入研究会だより

### 自然とのふれあい

先月号でも紹介したように、大阪府立阪南高等学校が10月2日に訪れ、東富山、大川筋地域の各家庭での田舎暮らし体験を初め、サイクリング、カヌー体験を行いました。また、10月11日～14日には京都の私立聖母学院小学校、10月31日には東京都立野津田高等学校が四万十市内で様々な体験を行いました。

私立聖母学院小学校は約160名の児童が、12日に午前と午後の2回に分かれ、トンボ自然公園で生き物探しゲームをした後、四万十川学遊館内で生き物名前当てゲームを行いました。

「生き物探しゲーム」とはトンボ自然公園内に生息する生き物を見つけてやすい生き物から5段階に分け、3人1組のグループで5段階の達成を競い合うもので、児童たちは、「これちやう？」「わからん」などと言いながらも、凶鑑で調べ直してチャレンジし、「怖い」「気持ち悪い」と言いながらも、クモやバッタなどを協力して捕まけてきました。

体験の先生を行った杉村専務は、最後に児童たちへ「この体験を通して、皆さんが少しでも生き物に親しめて、自然の大切さを感じてもらえたなら嬉しい。皆さんの住む京都に残っている大切な自然を守り、今は環境保全で生活はできませんが、皆さんが大人になったら、自然を守ることでお金が得られるような社会を作ってほしい」との想いを話しました。



### 【問い合わせ先】

四万十市体験型観光受入研究会事務局（観光課）

☎（34）1783